

(お 知 ら せ)



平成 2 4 年 2 月 3 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成 2 4 年 2 月 3 日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成 2 4 年 1 月 7 日～平成 2 4 年 2 月 3 日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所 3, 4号機 準備工事について（平成 2 4 年 2 月 3 日現在）

（1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の追加切取工事のうち、安全対策として法面補強工事等を行っています。

（2）仮設工事関係

現在、仮設用地内のコンクリートプラントにおいて、コンクリートの品質確認のための試験を行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

当社は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に関連し、平成24年1月18日、敦賀発電所安全性向上対策実施状況について、報道機関に公開しました。また、東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全評価の実施状況について、平成24年1月31日に国へ提出しました。なお、平成24年2月1日、関西電力、三菱重工業株式会社、三菱電機株式会社と共同で、「三菱若狭原子力安全統括センター」の設置について発表しました。

詳細については別紙1をご参照下さい。

当社は今後も全力を挙げて事故の情報収集、分析を継続し、新たな知見が得られた場合には必要な対策について、迅速かつ的確に反映してまいります。

5. その他

(1) 当社発電所における火災の発生に関する指示文書の受領について

当社は、今年度、当社発電所において火災が続いていることを受け、平成24年1月13日、経済産業省原子力安全・保安院より、これまでの火災も踏まえ、度々火災が発生していることの原因究明及び再発防止対策の策定を行い、速やかに報告するよう指示文書を受領しました。

この指示に基づき、火災が発生した原因および再発防止対策について徹底した検討を行い、その結果について速やかに同院へ報告いたします。

火災が続いていることについては、地域の皆さまをはじめ関係機関の皆さまにご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、この度の指示を真摯に受け止め、協力会社各社も含め一丸となって再発防止に取り組んでまいります。

(平成24年1月13日発表済)

(2) げんでんふれあいギャラリー

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。>

1) 樹脂粘土で作り出す みどりの1人展

[樹脂粘土で動物、魚、虫、四季折々の作品を作られている、当ギャラリーでは初出展の山野 みどり様の個展です。季節を感じられる作品や、楽しい気持ちになれるような、可愛らしい作品を83点展示しています。]

(1月31日～2月5日)

2) 第14回「ふるさと大賞」写真コンテスト入賞作品展示会

[げんでんふれあい福井財団主催による、福井県内在住及び学校、勤務先が福井県内であるアマチュアカメラマンを対象とした写真コンテストの入賞作品展です。今年度のテーマは「ふるさとふくい」の活力・笑顔です。入賞作品を約70点を展示予定です。]

(2月7日～2月19日)

3) 第8回写団「さつき」写真展 —不断着の心で—

〔写団「さつき」(代表：齊藤 武吉様)の10名の皆様による作品展です。内容は主に彼岸花、紅葉、雪景色、蛭、滝、風景等の作品を約32点展示予定です。〕

(2月21日～2月26日)

4) つくし会書道作品展

〔つくし会(代表：道野 志津枝様)の11名の皆様による作品展です。若越書道会の発行する「若越習字」により、漢字、仮名、硬筆、調和体の基本を学び、誰にでも読みやすく、楽しんでいただけるよう研鑽を重ねた作品を約30点展示予定です。〕

(2月28日～3月11日)

(3) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。＞

1) 第13回「げんでんふるさと文化賞」及び「げんでん芸術新人賞」表彰式

〔福井県の文化普及・発展功労者及び将来期待される新人芸術家への表彰式〕

会場：当社 敦賀地区本部

日時：2月7日(火) 14時～

2) 第14回「ふるさと大賞」写真コンテスト表彰式

〔げんでんふれあい福井財団主催写真コンテストの表彰式〕

会場：当社 敦賀地区本部

日時：2月7日(火) 14時～

3) 第14回「ふるさと大賞」写真コンテスト入賞作品展示会

〔げんでんふれあい福井財団主催写真コンテスト入賞作品展〕

会場、日時：げんでんふれあいギャラリー 2月 7日～2月19日

ショッピングシティ「ベル」(福井市) 2月24日～2月29日

(4) 次世代層等への教育支援活動関連イベント

＜次世代層等への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

敦賀地区げんでんeまなびクラブ交流会

〔学習成果発表とエネルギークイズ大会〕

対象：げん丸塾生(会員制)他

会場：敦賀市中郷公民館

日時：2月25日(土) 9時30分～14時30分

以上

東北地方太平洋沖地震への対応実績（1月7日以降）

（1）敦賀発電所安全性向上対策実施状況公開

安全性向上対策実施状況について、平成24年1月18日に報道機関へ公開し、翌日以下のとおり当社ホームページに状況を公開しました。

敦賀発電所安全性向上対策実施状況等の報道機関への公開について

敦賀発電所では、福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策等を実施中です。今回、現状の実施状況につきまして報道機関の皆さまに公開しました。

記

1. 日 時：平成24年1月18日（水） 9：50～12：30

2. 場 所：敦賀発電所

3. 取材箇所：

①緊急時対策室建屋

②高圧電源車[※]

[※]：日本原子力研究開発機構原子炉廃止措置研究開発センター殿構内の高台（標高約20m）に配備

③2号機原子炉補助建屋の扉水密化状況

④2号機原子炉格納容器スプレイング、使用済燃料ピット水位監視カメラ等

4. ご取材いただいた報道機関：新聞7社、通信社1社、テレビ局4社

以上

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">①緊急時対策室建屋（新築）</div>		
 <p style="font-size: small; color: yellow;">建屋外観</p>	 <p style="font-size: small; color: yellow;">緊急時対策室。</p>	<p>平成19年の新潟県中越沖地震を踏まえ、免震構造の緊急時対策室建屋を新築しました。 この緊急時対策室にて事故時の災害対策の拠点となります。</p> <p>特長：建屋1階水密化、放射線の遮へい壁、放射性物質の流入を防ぐ換気装置、非常用発電機を設置。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">②高圧電源車（1,825kVA）</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">③建屋扉水密化状況</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">④格納容器内（管理区域）</div>
		
<p style="font-size: x-small;">全交流電源喪失時に中央制御室の監視機器や原子炉冷却に必要なポンプ等を稼働させるための電源。（計3台）</p>	<p style="font-size: x-small;">建屋への海水浸入防止のため、建屋扉を水密化。</p>	<p style="font-size: x-small;">健全性確認を行った原子炉格納容器スプレイング[※]等を確認。 [※]事故時に格納容器の圧力を低減させる。</p>

(2) 東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全評価の実施状況について

当社は、原子力安全・保安院からの指示に基づき、「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価実施計画書」を提出し、これに基づき、当社発電所における東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた地震動及び津波の影響に関する評価を実施しております。

このうち、敦賀発電所における津波による影響評価、浦底断層の活動に伴う地盤の変位変動及び周辺斜面の安定性評価について、地震・津波に関する意見聴取会での審議状況を踏まえて津波の影響評価を実施する必要があることや、評価に時間を要していることから、報告時期を変更することとし、平成24年1月31日、原子力安全・保安院に報告しました。当社としては、審議状況を注視するとともに引き続き評価作業を進め、取りまとめ次第報告します。

(平成24年1月31日発表済)

(3) 「三菱若狭原子力安全統括センター」の設置について

三菱重工業株式会社（以下、三菱重工）と三菱電機株式会社（以下、三菱電機）は、若狭地区にある関西電力株式会社（以下、関西電力）および日本原子力発電株式会社（以下、日本原電）の原子力発電所支援体制の強化を目的に、本日付けで福井県三方郡美浜町に「三菱若狭原子力安全統括センター」を設置いたしました。

三菱重工および三菱電機は、関西電力および日本原電と従来から緊急時初動対応、トラブル対応においてプラントの技術情報を共有するなど協力関係を構築しておりますが、今般の福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、プラントメーカー技術者の若狭地区への常時配置、ならびにこの要員による緊急時初期対応支援体制を確立してまいります。

(平成24年2月1日 三菱重工、三菱電機、関西電力と共同発表済)



上：三菱若狭原子力安全統括センターが入居したビル（美浜町）
左：三菱重工、三菱電機、関西電力および当社による銘板設置式

以上